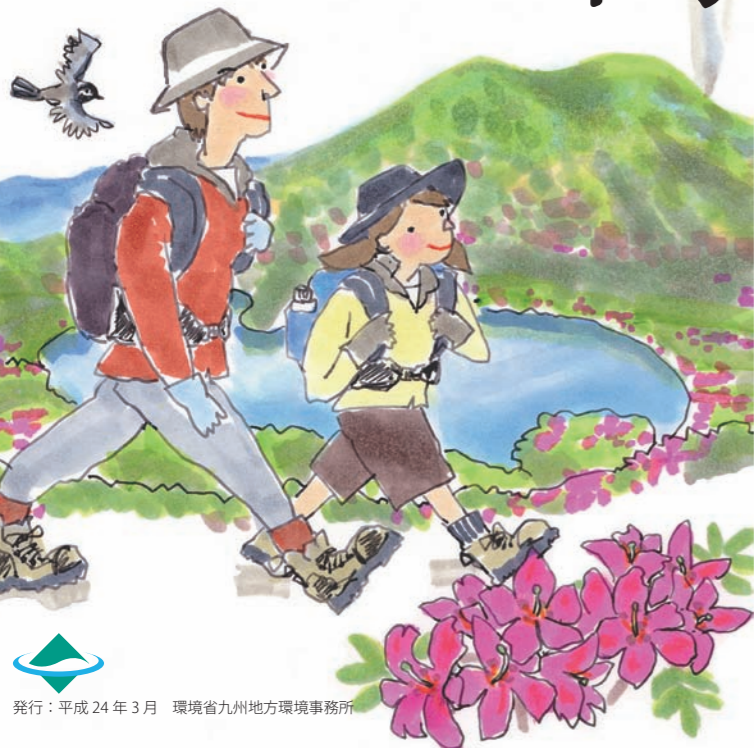


安全利用 ガイド&マップ

平成23年1月26日、新燃岳が約300年ぶりの激しい噴火を起こしました。新燃岳や高千穂峰などの山々は登山規制が続いています。このガイド&マップでは、いま利用できる霧島のみどころについてご紹介します。

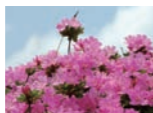
霧島



発行：平成24年3月 環境省九州地方環境事務所

国立公園霧島 - 日本で最初の国立公園 -

昭和9年に日本で最初の国立公園に指定された霧島には火山活動によって作られた美しい形の山や火山湖など、すばらしい景観が広がっています。火山の厳しい環境に適したミヤマキリシマや南九州の暖かな気候と豊富な雨に育てられた森、そこに暮らすクマタカやシカなどのたくさんの生き物たちをみることができます。また高千穂峰は天孫降臨の聖地として古くから信仰の対象となっています。平成24年3月に「霧島錦江湾国立公園」という名前になりました。平成22年には日本ジオパークに認定されています。



ミヤマキリシマ



ヤイロチョウ
写真提供：高原町観光協会



霧島登山のマナー

- **登山道からはずれない**
決められた登山道から外れて歩くと、まわりの草木を踏みつけ傷つけてしまいます。写真も登山道から撮りましょう。
- **ゴミはもち帰ろう**
- **植物や動物をとらない**
どんな植物も動物も霧島のたいせつな一員です。採ったり踏みつけたりしないよう気をつけましょう。
- **野生動物にエサをあたえない**
野生動物にはエサを与えるのではなく、そっと見守りましょう。

盗掘、密猟、不法投棄をみつけたらすぐにご連絡ください、あなたの一報が霧島を守ります！「連絡先」欄をご覧ください。

噴火に備えて～霧島山は活火山です！

霧島山は約34万年前に大噴火をした加久藤カルデラの南縁にある、宮崎県と鹿児島県にまたがる20余りの火山の総称です。平成23年1月26日、新燃岳が約300年ぶりの激しい噴火を起こしました。現在でも新燃岳の火山活動は継続しています。噴火やそれに伴う危険に備えましょう。



平成23年1月27日新燃岳

新燃岳の活動状況をチェック！

● 新燃岳の噴火警戒レベルについて

噴火警戒レベルとは、噴火時などに危険な範囲や必要な防災対応を、レベル1からレベル5の5段階に区分したものです。レベル毎に、火山の周辺住民や観光客、登山者等の取るべき防災対応等を関係市町・気象庁で取り決めています。H24年3月現在、新燃岳は「レベル3入山規制」で火山口から3km以内への立入りが禁止されています。

予報・警報の名称	レベル・キーワード	登山者・入山者等への対応
噴火警報	レベル5 避難	危険な居住地域からの避難等が必要。
	レベル4 避難準備	警戒が必要な居住地域での避難の準備等が必要。
火山口周辺警報	レベル3 入山規制	登山禁止や入山規制等危険な地域への立ち入り規制等。
	レベル2 火山口周辺規制	火山口周辺への立ち入り規制等。
噴火予報	レベル1 平常	状況に応じて火山口内への立ち入り規制等。

※「霧島山（新燃岳）の噴火警戒レベル」（気象庁発表）より抜粋。
※噴火警戒レベルによって規制範囲は異なります。
※また、レベル3の規制範囲（2km、3km、4km）は状況によって変わります。

● 登山道の規制について

新燃岳の火山口から3km外であっても、風に乗ってこぶし大の噴石が飛来するおそれがあるため、韓国岳・高千穂峰なども登山規制が続いています。規制状況は下の地図をご覧ください。立入りが規制されている場所へは、絶対に入らないようにしましょう。

● 新燃岳上空の風向き

噴煙は風に乗って風下へ流れ、噴石や火山灰を降らせませす。新燃岳上空の風向きをチェックしましょう。

最新の登山道の規制情報、新燃岳の活動状況、季節のみどころについて調べてから出かけよう！まずはビジターセンターへ！

- **えびのエコミュージアムセンター**
【開館時間】9:00~17:00（年中無休）
【問合せ先】0984-33-3002

えびの高原にあり、霧島連山の登山や池巡り自然探勝路の拠点として人々に親しまれています。霧島の自然を、写真、映像、模型などで紹介する自然博物館です。



- **高千穂河原ビジターセンター**
高千穂河原パークサービスセンター
【開館時間】9:00~17:00（年中無休）
【問合せ先】0995-57-2505

高千穂河原にあり霧島の自然についてわかりやすく説明しています。開花情報など季節ごとの見どころ情報を提供しています。



！ 登山中に噴火に気づいたら！

噴火から数分後には噴石や火山灰が飛来する恐れがあります。噴煙の向きに注意しながら身を隠しつつ退避しましょう。噴火はすぐに収まる場合と継続する場合とがあり、火砕流が発生する可能性もありますので状況に応じて避難して下さい。

※風向き（気象庁HP）、災害区域予測（地元自治体HPやビジターセンターなど）を事前に確認しましょう。

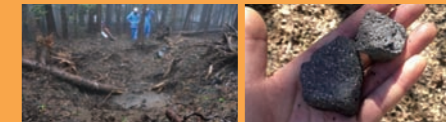


※背景の写真:2011年9月7日撮影の衛星画像（ASTER）
新燃岳の火山口に溶岩が堆積している様子や新燃岳や御鉢、高千穂峰周辺に火山灰が堆積している様子がわかります。また、この日の小規模な噴火により北北東方向に噴煙が流れています。

いろいろな火山現象

噴石・火山弾

噴火によって高温の岩石が火山口から勢いよく飛び出し、地上に落下する現象です。新燃岳の噴火では火山口から約10km離れた小林市街でも小さな噴石が降って車のガラスを割るなどの被害がありました。



左の写真：火山弾の落下により火山口から3.2kmの地点にできたクレーター
右の写真：火山口から約3kmの登山道に落下した噴石

火山灰

噴火によって泡だったマグマの破片（軽石）や溶岩のかけらが噴き上げられ、地上に降る現象です。軽石や火山灰は風下側に降るので、上空の風向きに注意し、火山灰が降ってきたらマスクが濡らしたハンカチなどで口と鼻をおおひましょう。目に入ったら、こすらず洗い流しましょう。



高千穂河原のベンチに積もった火山灰

火山ガス

二酸化硫黄や硫化水素など有毒なガスが含まれています。規制場所には入らないで下さい。窪地や谷地形などに溜まりやすく、無風のときは特に注意が必要です。



新燃岳の火山ガス

火砕流や熱風

火山口から上昇した噴煙が勢いを失い、高温の火山灰や岩石と火山ガスなどが混合し斜面を高速で流れ下る大変危険な火山現象です。火砕流に伴う熱風はより遠方に到達します。

溶岩流

マグマが火山口から流れ出し、山の斜面を流れ下る現象です。速度は遅いのですが高温です。

土石流

斜面に厚く降り積もった火山灰や噴石が、雨の時に水と混じって谷などを勢いよく流れ下る現象です。大雨の時は注意が必要です。

空振

噴火に伴う爆発によって生じる空気の振動、衝撃波です。火山に面した窓ガラスなどが割れる被害を生じたりします。

※火山現象の詳細は、気象庁HPなどを参照下さい。

連絡先

《遭難、体調不良・救難要請》
警察署：110番 消防署：119番

《気象・火山など》
鹿児島地方気象台 観測予報課：099-250-9913
宮崎地方気象台 技術課：0985-25-4031

《盗掘、密猟、不法投棄を見つけたら》
警察またはえびの自然保護官事務所：0984-33-1108
宮崎森林管理署都城支署：0986-23-4566
鹿児島森林管理署：099-247-7111

《雨量・水位・水防に関する情報》
携帯電話で右のQRコードを読み取ってアクセスしてください。
国土交通省「リアルタイム川の防災情報」
http://www.river.go.jp/

《火山・地震・気象に関する情報》
携帯電話で右のQRコードを読み取ってアクセスしてください。
国土交通省「防災情報提供センター」
http://www.mlit.go.jp/saigai/bosaijoho/i-index.html

《観光案内、各種問い合わせ》
都城市：0986-23-2111 社団法人都城観光協会：0986-23-2460
小林市：0984-23-1111 小林市観光協会：0984-22-8684
えびの市：0984-35-1111 えびの市観光協会：0984-35-3838
高原町：0984-42-2111 高原町観光協会：0984-42-4560
霧島市：0995-45-5111 社団法人霧島市観光協会：0995-78-2115
湧水町：0995-74-3111 霧島山麓湧水町観光協会：0995-74-5690

霧島安全利用ガイド&マップ

発行／環境省九州地方環境事務所
問合せ先／えびの自然保護官事務所
〒889-4302 宮崎県えびの市末永1495-5
Tel.0984-33-1108 Fax.0984-33-6160

